

【オンライン開催】

神奈川歯科大学学会
第 173 回 例会プログラム

令和 6 年 2 月 8 日 (木) 16 時 30 分～40 分

Zoom ID: 868 3561 2790
パスコード: g173

発表会場は設けません。各自 PC よりご参加下さい。

[一般発表]

座長: 武藤 徳子

1. 神奈川県における自己申告の 3 歳児う蝕に関連する要因と地域差

○ALTANBAGANA NANDIN UCHRAL, 宋 文群, 持田悠貴, 入江浩一郎, 山本龍生 (口腔衛生)

「目的」県行政への活用に資するため、神奈川県が 2020 年度に実施した県民歯科保健実態調査の 3 歳児のデータを用いて、う蝕に関連する個人要因と地域差を検討した。「方法」4,741 名の自己申告のう蝕、属性および歯科保健行動のデータを用いた。う蝕の有無または不明とその他の調査項目をクロス集計で検討後、う蝕の有無または不明を目的変数 (参照カテゴリ: う蝕なし)、その他の項目を説明変数とした多項ロジスティック回帰分析を行った。仕上げ磨きの負担感や困り感の自由回答について計量テキスト分析を行った。

「結果および考察」多項ロジスティック回帰でう蝕ありのオッズ比が有意に 1 以上であったのは、住所地域 (基準: 横浜市) の相模原市、湘南東部、県西、出生順位 (基準: 第 1 子) の第 2 子以降、テレビを見ながら食事 (基準: しない)、甘味飲食物の毎日摂取 (基準: なし)、歯を毎日磨かない (基準: 磨く)、仕上げ磨きの負担感や困り感 (基準: なし)、フッ化物配合歯磨剤を毎日使わない (基準: 使う)、歯科医院の受診経験ありまたは不明 (基準: なし) であった ($p < 0.05$)。自由回答では、子どもが口を開けるのを嫌がるなどの困りごとが多かった。これらの結果から、神奈川県 の 3 歳児う蝕には、出生順位、食事の習慣、甘味飲食物の摂取、歯磨き習慣、保護者の仕上げ磨きの負担感や困り感、フッ化物配合歯磨剤の使用、歯科医院の受診経験が関連し、これらの個人要因を調整しても地域差が存在した。 [YIA]

口演時間 7 分 質疑応答 3 分